

道徳通信

愛西市立八開中学校
第1学年
令和3年5月25日
No. 5

「誇りがもてる学校にしていけるために大切なことは何か考えよう」

～道徳「巣立ちの歌が聞こえる」を通して考えました～

「私」と「石丸さん」が通ったS中学校は、当時、「荒れた学校」といわれ、生徒どうしのいじめやけんか、校舎内の器物損壊がしばしば起こり、新聞に事件が報道されることもあった。先生や保護者は、なんとかこの状態から学校を落ち着かせようといういろいろ努力をしていた。しかし、生徒たちのほとんどは無関心をよそおっているように見えた。

市の総合体育大会へ参加したときには、数人の生徒が、「こんな校章、外させてください！」「この校章を見て、他校の子たちが『S中学だ、怖い！』『いじめられるぞ。逃げろ。』と言うんです。耐えられません」と、自分の学校の校章を恥ずかしいと涙を浮かべて訴えた。

「自分たちはこのまま卒業していいのか。誇りをもって学校を巣立つために、どうしたらいいのか、みんなで考えよう。」翌日の放課後、「石丸さん」たち何人かが、校舎の落書きや土足で蹴って汚された壁を洗剤を使って拭き始めた。それが一つのきっかけになって、その輪はしだいに広がっていった。

5か月後の卒業式、壇上に飾られた校旗に向かって、私たちは声高らかに校歌を歌いあげた。

「石丸さん」たちの気持ちの変化に注目し、誇りがもてる学校について考えました。

●● ●●さん

一人で行動をするのは勇気のいることだと思った。一人一人が学校のために何かをすることはいいことだし、学校の雰囲気もよくなる。卒業するときに誇りをもてると思った。

●● ●●くん

相手のことを考える。よいことを積極的にする。あいさつをすることが誇りにもてる八開中学校だと思いました。

●● ●●くん

これからは八開中の3つのモットーをできるようになり、3年生のときには、八開中に誇りがもてるようになっていきたいです。

●● ●●さん

「荒れた中学校」ではなく、仲のよい、協力ができる・自分から進んであいさつができる八開中学校にしていきたいと思いました。卒業するときは、明るい中学校で卒業したい。

●● ●●さん

石丸さんのように自分で考えて行動しようと思いました。3つのモットーを考えながら行動していきたい。

●● ●●さん

学校は、友情、良と悪、心などいろんなことを知っていきながら、成長していくところ。お世話になった分、誇りをもって巣立つようにしたい。

●● ●●さん

自分で変えようとする気持ちをもつことが大切。変わろうとする気持ちを心がけていきたいです。

●● ●●くん

一人がやって、そこから、何人もの人が加わってだんだん手伝ってくれるようになる雰囲気が大切。あいさつで印象が変わる。地域の人へのあいさつや行事に積極的に取り組みたい。

●● ●●くん

高校で荒れた学校に行ったら、自分から動こうと思った。

●● ●●さん

八開中に誇りをもてる人が少しでも多くなるように、自分もモットーを守っていく。

●● ●●さん

八開中を誇りがもてる学校にするには3つのモットーが出来るようになり、自覚をもつことが大切だなと思いました。